

8月保護者会 Surgery関連

養護教諭 佐藤智花

本日お話させていただくこと

- 1) 2学期の学校のあり方
- 2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方
- 3) 体調不良者が出了際の対応
- 4) 帰寮に向けてのお願い

本日お話させていただくこと

- 1) 2学期の学校のあり方
- 2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方
- 3) 体調不良者が出了際の対応
- 4) 帰寮に向けてのお願い

1) 2学期の学校のあり方 <英国の方針>

- ・生徒・学内をバブルに分け、そのバブル毎に行動する
- ・可能な限り、他のバブルや教員・スタッフとは距離をとり、物や空間 の共有を避ける／減らす
- ・バブル内であっても、できるだけ距離をとり、物の共有などを避ける ／減らす
→ 誰かがCOVID-19に感染した場合に、隔離対象となる人を減らす

1)2学期の学校のあり方 <立教英國>

・生徒・学内をバブルに分け、そのバブル毎に行動する

→立教英國では児童・生徒を4つのバブルに分け、更にそのバブルを2つずつのグループにし、時間や空間を可能な限り、物理的に分ける

* Aグループ:①P&Mバブル ②H1バブル

* Bグループ:①H2バブル ②H3バブル

本日お話させていただくこと

1) 2学期の学校のあり方

2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方

3) 体調不良者が出了際の対応

4) 帰寮に向けてのお願い

2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方

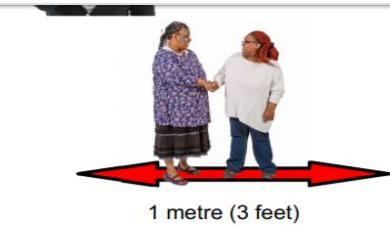
Surgeryは、

- ・全てのバブルの生徒が利用する場所
- ・体調不良の生徒が、そうではない生徒と接触する可能性がある場所
- ・COVID-19に暴露する可能性が高い場所 となりうる

→ 感染拡大を防ぐ、バブル外の濃厚接触者を減らすことが重要

→ 今までのようなSurgeryの使い方はできない

※濃厚接触(Close contact)となるのは？



Being close to could mean:

Being face to face with someone who is closer than 1 metre (3 feet) from you for **any length of time**

This includes things like:

- talking to someone
- coughing on someone



Being within 1 to 2 metres (3 – 6 feet) of someone for **more than 15 minutes**

This includes things like

- being in a car with them



感染が確認された人と

・1mよりも近い距離

・1-2mの距離で15分以上

・車への同乗

のいずれかがあった場合、

濃厚接触があったとみなされる。

(PPE装着をしている場合は例外)

2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方

Surgeryは、

- ・全てのバブルの生徒が利用する場所
- ・体調不良の生徒が、そうではない生徒と接触する可能性がある場所
- ・COVID-19に暴露する可能性が高い場所 となりうる

- 感染拡大を防ぐ、バブル外の濃厚接触者を減らすことが重要
- 今までのようなSurgeryの使い方はできない

2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方

Surgeryの利用のルールが変わります

- ・自由に来室するのではなく、可能な限り、近くの教員に相談してから 来室。もしくは、Surgeryスタッフが生徒の元へ行って対応
- ・Surgeryで同時に複数の生徒の対応はしない。Surgery外の待合エリア で、間隔をあけて順番待ちをしてもらう
- ・怪我・定期内服などへの対応場所と、体調不良への対応場所を分ける
- ・Surgeryでの休養は原則なし(休養が必要な場合はドミトリー)
- ・Surgeryでのおしゃべりなどは難しい など

本日お話させていただくこと

- 1) 2学期の学校のあり方
- 2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方
- 3) 体調不良者が出了際の対応**
- 4) 帰寮に向けてのお願い

3) 体調不良者がいた場合の対応

- ・体調不良の訴え／発見



- ・症状の確認・アセスメント ……COVID-19が疑われるかどうかの判定

※COVID-19が疑われる と判定する症状

以下のいずれかが確認された場合【COVID-19の疑いあり】と判定する

1)高熱

(ガイドライン上、ひとつの目安として37.8°C以上)

2)継続する咳

(1時間以上、咳をたくさんしている。もしくは、24時間の間に3回以上、咳が止まらないことがあった)

3)味覚もしくは嗅覚の異常／変化

3) 体調不良者がいた場合の対応

- ・体調不良の訴え／発見



- ・症状の確認・アセスメント ……COVID-19が疑われるかどうかの判定



<COVID-19のないなし>

→自分のドミトリーで休養など、通常時の対応

3) 体調不良者が出了した場合の対応

<COVID-19の疑いあり>

- ・本人は、バブルエリア内のシックルームに隔離。PCRテスト
- ・同性・同バブルの生徒もドミトリー隔離(ドミトリーの外に出ない)
- ・異性・同バブルの生徒は、隔離の必要はないが、体調確認、学内のルール遵守を徹底

3) 体調不良者が出了場合の対応

PCRテストの結果 <COVID-19(-)>

- ・症状が消失するまで休養。その後は通常の生活へ戻る
- ・同性・同バブルの生徒の隔離は解除

3) 体調不良者が出了場合の対応

PCRテストの結果 <COVID-19(+)>

- ・本人はEast House(隔離のための寮)へ移動
- ・症状発症から最低10日間の隔離
- ・基本的に、Surgeryスタッフが常駐し、ケアに当たる
- ・同性・同バブルの生徒は、ドミトリー隔離を継続
- ・異性・同バブルの生徒も、ドミトリー隔離を開始

隔離期間は、本人の症状
発症から14日間

3) 体調不良者が出了した場合の対応

本館	Garden House	新館	West House	East House
P	H2	M1	P	COVID-19 (+)
M1	H3	M3	M2	
M2		H1		
M3		H2		
H1		H3		

例) 小学生女子にCOVID疑いが確認された場合、その時点で、P・M女子全員の隔離を開始。

テストの結果、COVID-19(+)と判明した場合、P・M男子の隔離も開始。

隔離

3) 体調不良者がいた場合の対応

＜イギリスの医療制度／COVID-19対応の方針＞

- ・テストの結果、COVID-19と判明した場合は、学校は、Local Health Protection Teamに報告
- ・医療機関への受診は発生しない。本人および濃厚接触者のSelf-isolateが 基本(万が一、状態が悪化する場合は別)
- ・発症から10日後、平熱に戻っていれば、隔離終了となる(咳、味覚・嗅覚 異常／変化は残存している可能性あり)
- ・2週間の間に、2名以上のCOVID-19(+)が確認された場合、Outbreak との判断になり、LHPTから更なるアドバイスを得ながら対応する

本日お話させていただくこと

- 1) 2学期の学校のあり方
- 2) 2学期のSurgery(保健室)のあり方
- 3) 体調不良者が出了際の対応
- 4) 帰寮に向けてのお願い

4) 帰寮に向けてのお願い

- ・帰寮前の体調管理を徹底し、無理のない状態で帰寮してください
- ・必要な受診は全て、お済ませください
- ・必要な薬、物品(体温計、爪切り、よく使うサポーター)などを、 忘れずにご持参ください
- ・症状を隠したり、解熱剤などで無理に抑え込むことがないように、 ご家庭でもご指導ください

*ご帰寮前に、「休暇中の健康状態について」のフォームをお送りいたします。必ずご記入・ご送信ください。

4) 帰寮に向けてのお願い

2学期からは、今まで以上に、Surgery・学校が、学校・家・病院の役割を担っていくことになります。

集団感染、医療崩壊を起こさず、COVID-19以外のことにも、できるだけいつも通り対応していくには、教員はもちろん、生徒ひとりひとりの協力が不可欠です。

自分のことだけ、あるいは、一時的なメリットを考えるのではなく、集団全体の安全や安心を、皆で守るという意識をもって、帰寮準備、帰寮後の生活をしていただけたら、そしてそれを、保護者の皆さんにも後押ししていただけたら幸いです。

どうぞよろしくお願ひいたします。